

R e e c

The

R
e
c
o
r
d

O r
Rising
The

2016

12

december

VOL.685

- | 第13回東京国際ミュージックマーケット開催
- | 中高生レコーディングスタジオ体験プログラムを開催



RIA
Recording Industry Association of Japan

Monthly News Digest

Contents

Monthly News Digest.....	1
特集	
第13回東京国際 ミュージックマーケット開催	3
特報	
中高生レコーディングスタジオ 体験プログラムを開催	9
2016年度 廃盤セールを実施.....	10
ACA 設立 30 周年記念 「アジア知的財産権シンポジウム 2016」開催 ...	10
ヒットの裏側	11
Data File.....	12
Monthly Production Report	13
GOLD DISC	14

10/6 「VIPOアカデミー」で 斉藤会長が講義

10月6日、特定非営利活動法人映像産業振興機構（VIPO）において、「VIPO アカデミー コーポレートリーダーコース（第5期）」講座が開催され、当協会の斉藤正明会長（株式会社 JVC ケンウッド・ビクターエンタテインメント代表取締役社長）が講義を行った。

本講座は、エンターテインメント・コンテンツ業界のミドルリーダー向けに経営スキルやリーダーシップ習得を目的として行われるもので、当日は、同業界の若手マネージャーを中心に9名が受講した。

講義では、レコード業界やレコード会社ビジネス、ビクターエンタテインメントの概要説明の後、斉藤会長の東芝 EMI 社長時代のエピソードやビクターエンタテインメント社長としての成果、現レコード協会長としての活動についての説明がなされた。後半は市井 VIPO 事務局長や受講者の質問に斉藤会長が答える形で進行し、途中何度も笑いが起こるなど終始和やかな雰囲気の中で終了した。

講義後のグループディスカッションや受講後のアンケートでは、「物作りや人への関わり方が勉強になった」「緻密な考えと大胆な実行力にあらためて感銘を受けた」「ソフトな語り口で、内容もとてもわかりやすく人望の厚さ



を感じた」といった好評価が寄せられた。

10/14 東京モード学園にて著作権に 関する講義を実施

10月14日、新宿区の東京モード学園にて、当協会広報部松下部員が「音楽と著作権」をテーマに講義を行った。今回の講義は、美容、ファッション、デザインの専門学校である同校において、著作権をはじめとした知的財産権の理解を深めることを目的に、当協会に講師派遣の依頼があったことから実現したものである。

講義では、当協会の事業、国内外のレコード市場の状況を紹介。さらに、著作権・著作隣接権の内容やエルマークの説明を行った。ファッション、メイク、インテリアやグラフィックを学ぶ1年生を中心に、約470名が聴講した。受講後のアンケートでは、「デザインを行う立場として、他のコンテンツを使用する際には著作権に配慮したい」「創作者に著作権が与えられることは知っていたが、著作隣接権者の存在を今回初めて知ることができた」などの感想が寄せられた。



このエルマークは、レコード会社・映像製作会社が提供するコンテンツを示す一般社団法人日本レコード協会の登録商標です

10/19 IFPI・CODA「トレーニング セミナー」北京市で開催

10月19日、中国・北京市の北京東方花園飯店（Beijing Oriental Garden Hotel）のセミナールームにおいて、国際レコード産業連盟（IFPI）および一般社団法人コンテンツ流通促進機構（CODA）による合同トレーニングセミナーとして位置付けられた、「放送二次使用料請求権および演奏権に関するセミナー（Seminar on Broadcasting and Public Performance Rights）」が開催された。

当協会からは著作権・契約部 楠本部長が講師として参加し、「日本レコード協会が行う集中管理事業」と題した講義を行った。講義では、日本の音楽市場の概要、日本の音楽著作権・著作隣接権の集中管理の概要、当協会が行う集中管理事業、著作権普及啓発活動について説明を行った。続いて、IFPI アジア地域総裁 Ang Kwee Tiang 氏が「アジアにおける放送使用料徴収と演奏権」について、CODAの渡部清隆氏が「著作権侵害対策と正規流通の取り組み」について、それぞれ説明を行った。その後、中国側より3名のスピーカーが順次登壇し、国家版權局政策法制司の高思副司長が「中国の放送伝達権および演奏権」について、中国音楽著作権協会の朱巖政情報宣伝部長が「使用料徴収の実態」について、また中国伝媒大学の張豊艶副教授が「中国のテレビ・ラジオの音楽利用の実態」について、それぞれ説明を行った。

IFPIとCODAは共同で、中国をはじめとするアジア地区の行政職員等を対象に、著作権啓発を目的としたトレーニングセミナーを実施している。今年は、行政、著作権管理団体、テレビ・

ラジオ等のメディア、研究者や弁護士など約70名が参加し、活発な議論が展開された。



10/20 アジア各国の著作権職員来日

当協会は、世界知的所有権機関（WIPO）・文化庁主催の「著作権・著作隣接権の保護に関する特別研修」に対し、講師を派遣し、レコード製作者の権利、集中管理事業等に関する講義を実施した。

この研修は、アジア各国の著作権当局職員および著作権侵害の取り締まり機関等職員を対象として、日本の著作権・著作隣接権制度に関する研修を行うことにより、当該国の著作権・著作隣接権の保護制度の充実およびエンフォースメントのための取り組み強化の支援を目的に、毎年開催されている。

今年は10月17日から28日の期間、中国、パキスタン、フィリピン、ベトナムの4カ国から8名の研修員が来日し、文化庁、日本音楽著作権協会ほか各著作権管理団体が講義を担当した。当協会からは著作権・契約部飛世課長が出席し、レコード製作者の著作隣接権と集中管理事業、当協会の違法対策の取り組みについて説明を行った。

参加者からは、違法対策の効果や、著作権を守る意識を広めるための取り組み等に対し、熱心な質問が寄せられた。

RIAJ2016年11月度理事会議案

■ 審議事項

1. 平成29年度重点施策および収支予算の骨子（案）について
2. 平成28年度の民放連との二次使用料契約締結の件

■ 報告事項

1. 名義使用申請に関する件
 - (1) IFPI香港主催「香港アジアポップミュージックフェスティバル2017（HKAMF2017）」への後援名義使用依頼
2. 法制委員会関係報告
 - (1) 総務省「放送コンテンツの制作・流通の促進等に関する検討委員会」の開催について
3. マーケティング委員会関係報告
 - (1) ラジコタイムフリー聴取機能・シェアラジオ実証実験開始後の全体的な動向について
4. 広報関係報告
 - (1) レコーディングスタジオ体験プログラム実施報告
5. その他報告
 - (1) IFPI中央理事会報告
 - (2) 次期会長候補者選考委員会委員について

●●● 会員社のお知らせ ●●●

■ 移転（11/28付）

社名：日本クラウン株式会社
新住所：〒141-8573
東京都品川区北品川6-5-27
御殿山ビル3階
新電話番号：03-6432-5440（代表）

社名：株式会社徳間ジャパンコミュニケーションズ
新住所：〒141-8564
東京都品川区北品川6-5-27
御殿山ビル4階
新電話番号：03-6432-5400（代表）

社名：クラウン徳間ミュージック販売株式会社
新住所：〒141-0001
東京都品川区北品川6-5-27
御殿山ビル4階
新電話番号：03-6432-5477（代表）

第13回東京国際ミュージックマーケット開催

10月24日から26日の3日間、「東京国際ミュージックマーケット（13th TIMM）」が開催された。“世界を知り、世界と出会う”をテーマに、日本音楽の海外進出を目的として、商談会やビジネス・セミナー、連携ライブを実施。今年から中心会場を渋谷に移し、商談会およびビジネス・セミナーが24日・25日に渋谷エクセルホテル東急にて、連携ライブが3日間、TSUTAYA O-EASTで行われた。来場者はマーケット、ライブ、パーティーをあわせ、3日間で4,959名に上った。

今号では13th TIMMの様子をレポートする。



13th TIMM 概要

日時：2016年10月24日～26日

会場：渋谷エクセルホテル東急（24日・25日）、

グランドニッコー東京 台場（26日）、TSUTAYA O-EAST

主催：経済産業省、一般財団法人 音楽産業・文化振興財団（PROMIC）



〔 商 談 会 〕 | 出展者数 36 社・団体

今年は10月24日・25日の2日間、渋谷エクセルホテル東急を会場として行われた。国内外あわせて36社・団体の出展を得てブースが設けられ、世界16カ国以上から集まったバイヤーや音楽関係者でにぎわった。ブース近辺ではアーティストも稼働し、積極的に訪問者にアピールを行う姿が散見された。そのほか、アソビシステム株式会社と株式会社レコチョクの研究開発機関であるレコチョク・ラボとの共同による、きゅーぱみゅぱみゅ海外公演のVR体験ブースも注目を集めていた。



今回のTIMM期間中、当協会は3カ国5名のインフルエンサー「J-Music Mates」を招聘。来日中、インフルエンサーはTIMMや連携ライブの視察を行った。



ライブの演出、音響、照明、パフォーマンスの素晴らしさに感動しました！いつか私もこんな環境でライブがしたいです。(Yumi氏)

TIMMに参加し、日本の音楽マーケットに触れるという夢がかないました。ありがとうございました。(Luthfi氏)

商談会を見て、日本の音楽ジャンルの幅広さを感じました。(Ananya氏)

(写真左から) Yumi氏(インドネシア/日本イベントなどで活躍する人気アーティスト)、Luthfi氏(インドネシア/同国FM局ZORA FMの音楽番組「Zora Japan Beat」DJ)、Ananya氏(タイ/タイムメディア大手「BEC-Tero」グループによるWEBラジオ「TofuPOP」担当)

〔 ビジネスセミナー 〕

TIMM のビジネスセミナーは、10月24日・25日の2日間、日本音楽の海外ビジネス展開をベースに、さまざまなサブテーマを設けて開催された。各分野のキーパーソンが登壇して活発な議論が展開され、バイヤーをはじめ音楽関係者の高い関心を集めた。主なセミナーの概要を紹介する。

最新の中国音楽著作権ビジネス事情

モデレーター：横澤優（株式会社アソジア 代表取締役）

スピーカー：Wang Ju（Administrative Vice President, Secretary General / China Audio-video and Digital Publishing Association (CADPA)）、Song Ke（Chairman / Alibaba Music Group）



アジア各地で日本アーティストのビジネス展開に取り組むアソジアの横澤優氏をモデレーターに、中国のデジタルコンテンツ業界団体である CADPA の Wang Ju 氏ならびに中国の音楽配信大手である Alibaba Music Group の Song Ke 氏を迎え、主にデジタル音楽環境下における中国の著作権事情について議論された。中国デジタル音楽市場の広がりや著作権を核としたビジネスチャンスの拡大が紹介され、変貌する市場での著作権管理状況が解説された。活気ある市場に日本アーティストがどうアプローチすべきか、といったテーマも語られた。



海外公演に向けて、 日本アーティストがすべき準備とは

モデレーター：Rev. Moose（Marauder / Co-Founder）

スピーカー：中川悠介（アソビシステム株式会社 代表取締役社長）、南部曉炳（株式会社 ZAZA 代表取締役、株式会社 FYD 取締役）、Nick Luscombe（Broadcaster / BBC Radio 3）



モデレーターは、主に北米市場で世界のアーティストのプロモーションに携わる Rev. Moose 氏。「もしもしにっぽん」プロジェクトに携わる中川悠介氏、MAN WITH A MISSION のマネジメントを手がける南部曉炳氏というアーティスト・プロモーション側のキーパーソンに加え、メディア側からも BBC Radio 3 の Nick Luscombe 氏を迎えて、日本アーティストが海外ライブを成功させるために必要なことは何かを、多角的に議論した。中川氏、南部氏が、成功体験のエッセンスとして「日本文化のブランド力の活用」「ローカライズ」「現地で人気のあるアーティスト等との連携」「SNS 等での展開」「語学力」などの重要性を訴え、さらに Luscombe 氏から、各国のビジネススタイルや、音楽志向の違いに応じた企画を組み立てることの必要性が打ち出され、スピーカーの賛同を得た。活発な質疑応答の後、最終的に生きた人脈を作ることが大切だという話に至り、スピーカーを含め、来場者同士でのネットワーク構築が呼びかけられた。

Keynote Conversation ～ 今後の日本アーティストの海外展開

スピーカー：Kaz Utsunomiya (Antinos Management America, Inc. / COO 兼 Executive Producer)、丸山茂雄 (株式会社 247 代表取締役 / S.M.Entertainment 顧問)



ロサンゼルス拠点の音楽プロデューサーである Kaz Utsunomiya 氏と、ソニー・ミュージック エンタテインメント元社長で現在は (株) 247 代表取締役および S.M. Entertainment 顧問を務める丸山茂雄氏というレジェンドの二人が、日本アーティストの海外展開をテーマに、多岐にわたって語り合った。イエロー・マジック・オーケストラの成功譚にはじまり、丸山氏が、Utsunomiya 氏の協力を得ながらロンドンで行った日本アーティストの育成プロジェクトなどの体験談を軸に、海外での成果や難しかった課題を紹介する興味深い話が展開された。今後へ向けて、優れた現地マネジメントとのコネクション、語学力の充実、映像とのコラボ、ネット環境の活用といった成功へのキーポイントが浮き彫りにされた。

Keynote Conversation ～ 小室哲哉、今後の海外展開を語る

スピーカー：小室哲哉 (音楽プロデューサー)、ジェイ・コウガミ (デジタル音楽ジャーナリスト)

常に海外を視野に音楽活動、プロデュース活動に取り組んできたという小室哲哉氏に、デジタル音楽ジャーナリスト、ジェイ・コウガミ氏がインタビューを行った。CD 市場へのこだわりが、日本の音楽市場に「失われた 15 年」をもたらしたという話題に始まり、IT を活用したビジネスモデルを確立しつつ、海外展開を図ることの重要性を説いていく。そこから小室氏は、自身の活動を踏まえつつ「DJ に見る先端的なチームビルディング」「魅力あるアンセムの効果とは」「アートとのコラボ」「音楽キュレーター的重要性」といった斬新な切り口で未来の音楽ビジネスの多様な可能性を論じ、語りによって来場者を魅了した。



SyncSummit @ TIMM 2016; a J-Music LAB Seminar

モデレーター：Mark Frieser (CEO, SyncSummit & Sync Exchange)

パネラー：Gary Calamar (President / Go Music)、Mamie Coleman (VP, Music and Production / Fox Broadcasting Company)、Chris Clark (Director of Music / Leo Burnette)



昨年に続き、欧米主要都市で開催されているシンクロライセンス・ビジネスに特化したイベント「Sync Summit」の CEO である Mark Frieser 氏をモデレーターとし、海外における大ヒットテレビシリーズやアメリカの大手テレビネットワーク、またグローバル企業の広告制作を担当するミュージック・スーパーバイザーらをパネラーに迎え、世界市場における日本音楽の映像作品への使用実例やタイアップの可能性をテーマとしたパネルディスカッションが行われた。

当日は当協会海外マーケティング委員会の大竹副委員長の挨拶から始まり、パネラーの過去の作品や海外で活躍する日本人アーティストの作品の紹介、さらにその作品のシンクロ利用の可能性などに触れた意見交換が行われた。質疑応答では、実際にオファーがあった場合の対応など実務に即した内容のディスカッションが行われた。

〔 連 携 ラ イ ヴ 〕

10月24日～26日の3日間、TSUTAYA O-EASTでライブを開催。総勢18組の国内外アーティストが出演し、バラエティ豊かなパフォーマンスを披露した。

photo by 伊藤彰浩 (COIL management)





天月 - あまつぎ -



Young Juvenile Youth



龍雅 - Ryoga -



Ayasa



SULTAN OF THE DISCO



831



藤原さくら



ゆう十



プラネットオシリス



BAND-MAID

特 報

Special Report

中高生レコーディングスタジオ体験プログラムを開催

当協会は、音楽が制作される過程を学び、さらに上質な環境で音楽を楽しんでいただく機会の提供を目的として、音楽に関心のある中学生・高校生を対象に、レコーディングスタジオ体験学習プログラムを今年度より開始した。

レコーディングスタジオ体験学習プログラム～音楽が生まれる現場を体感しよう！～

レコーディングスタジオを会場に、音楽が制作される過程を学び、そこで働く人の想いに触れることで、ハッピーミュージックサイクル（音楽創造のサイクル）の重要性を実感していただくプログラム。また、音楽をよりよい環境で楽しんでもらいたいという思いから、音楽鑑賞を行う時間も設けている。

開催にあたっては、キング関口台スタジオ、ソニー・ミュージックスタジオ、ピクタースタジオのご協力、ご賛同を得ている。

プログラム内容（所要時間 90 分）

「音楽ができるまで」工程のレクチャー／レコーディングスタジオ内の見学／音楽鑑賞

申し込み方法など、詳細は以下 WEB ページを参照

中高生向け学習プログラムのご案内 <http://www.riaj.or.jp/f/education/studio.html>



体験プログラムの模様をレポート

11/10 ソニー・ミュージックスタジオ

武蔵村山市立小中一貫校 村山学園の5名が参加。株式会社ソニー・ミュージックコミュニケーションズ スタジオオフィスの宮田次長より、スタジオ内のご説明をいただいた。



ボーカル録音をイメージしてセッティングされたマイクの前で



コンソールを実際に操作しながら、ミックスダウン作業に挑戦！

宮田次長から「機材や配置といった無数の選択肢から生まれる組み合わせのうち、最適な音を導くのがエンジニアの腕の見せ所」と、エンジニアの果たす役割が語られると、生徒たちは興味深そうにうなずいていた。また、ミックスダウン作業体験では、楽器やボーカル等の各パートに分かれていた音が、次第に一曲に仕上がっていくにつれて、わくわくした表情を見せていた。

11/22 キング関口台スタジオ

私立埼玉栄高等学校の10名が参加。株式会社キング関口台スタジオの高橋経営本部長代理兼管理統括部長よりスタジオ設立の歴史や機能をご紹介いただいた後、増田録音部長より、スタジオ内の設備や実際のレコーディング作業に関するレクチャーをいただいた。

生徒らは、レコーディング用にマイクがセッティングされたピアノを用いての、生音とマイクを通しての音の聴き比べや、ミックスダウン作業に挑戦。また、持ち寄ったお気に入りのCDをスタジオの環境で鑑賞する時間には、普段とは異なる音の迫力や臨場感に、笑顔があふれた。



ピアノの生音と、マイクを通した音とを聴き比べ



各パートの音量のバランス、音の効果を付けていく作業は試行錯誤の連続

寄せられた感想

- ・ 本物のレコーディングを見てみたい！
- ・ スタジオエンジニアという職業についてもっと知りたいと思いました
- ・ 音楽の聴き方が変わりました

- ・ 普段イヤホンを通して聴いている音と、迫力が違いました！
- ・ 音響や音質へのこだわりを感じ、時間をかけて制作されていることが伝わってきました
- ・ 普段見ることのできない制作現場を体験でき、嬉しかったです

特 報

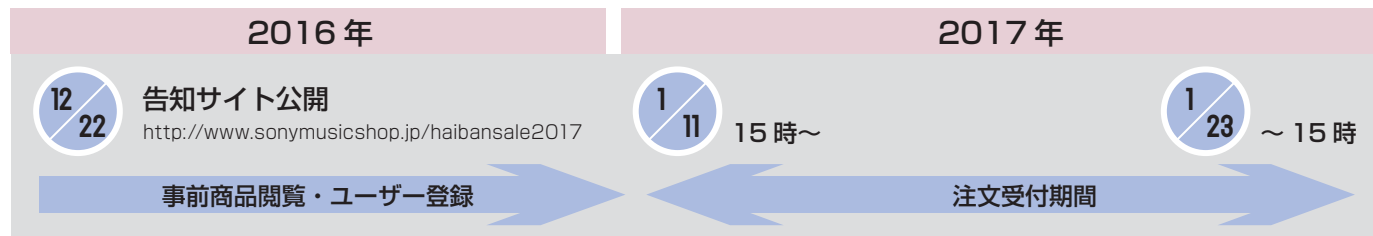
Special Report

2016 年度 廃盤セールを実施



当協会会員社は、今年度もインターネット販売による「2017 新春レコードファン感謝祭～廃盤 CD ディスカウントセール」を開催する。

開催スケジュール



開催概要

URL : <http://www.sonymusicshop.jp/haibansale2017> 主催 : 一般社団法人日本レコード協会 会員社
 協賛 : 一般社団法人日本レコード協会 運営 : 株式会社ソニー・ミュージックマーケティング Sony Music Shop
 出品予定 : CD (8cm・12cm)、カセットテープ、DVD、LD、ビデオカセット 出品予定数 : 1,300 タイトル、20,000 枚
 販売価格 : 廃盤は定価の 70%OFF。その他、輸入盤、時限再販期間経過商品等を割引特価で販売

ACA 設立 30 周年記念 「アジア知的財産権シンポジウム 2016」開催

当協会が加盟する不正商品対策協議会（ACA）は、12 月 19 日、「アジア知的財産権シンポジウム 2016」を開催する。

不正商品対策協議会 設立 30 周年記念「アジア知的財産権シンポジウム 2016」

テーマ : グローバル社会における知的財産の保護と不正商品の排除に向けて 開催日時 : 2016 年 12 月 19 日 (月) 14:00 ～ 17:50

会場 : JP タワーホール (東京都千代田区丸の内 2 丁目 7 番 2 号 KITTE 4F) 主催 : 不正商品対策協議会 (ACA)

共催 : 日本経済新聞社 後援 : 知的財産戦略本部・警察庁・総務省・外務省・財務省・文化庁・経済産業省

協力 : 一般社団法人 コンテンツ海外流通促進機構 (CODA)

開催内容およびスケジュール

14:00 ～ 14:05	開会の挨拶 警察庁生活安全局長 種谷良二
14:05 ～ 14:35	レポート 1 「我が国における知的財産の保護と不正商品の排除活動について ～原点回帰 ACA の歩み～」 ・ ACA 事務局長 後藤健郎
14:35 ～ 15:05	レポート 2 「我が国の知的財産権侵害事犯の現状と課題」 ・ 警察庁生活安全局生活経済対策管理官 津田隆好 ・ 聞き手 弁護士 / ACA 監事 前田哲男
15:05 ～ 15:35	レポート 3 「グローバル社会におけるサイバー犯罪対策の現状と課題」 ・ 警察庁生活安全局情報技術犯罪対策課官民連携推進官 宮西健至
15:50 ～ 17:45	講演 & パネルディスカッション テーマ「グローバル社会における知的財産の保護と不正商品の排除に向けて」 ・ 永山裕二 知的財産戦略推進事務局内閣参事官 ・ ピーター・ラットクリフ (英国警察知的財産犯罪ユニット「PIPCU:Police Intellectual Property Crime Unit」警部 -DCI-) ・ 埴崎隆之 弁護士 / CODA 事務局長 ・ モデレーター 弁護士 / ACA 監事 遠山友寛
17:45 ～ 17:50	閉会の挨拶 ACA 代表幹事 島谷能成

ヒットの裏側

多くの人を魅了したヒット曲は、どのように世に送り出されたのか。音楽人の苦闘が織り込まれた『ヒットの裏側』をリレー形式でひも解いていく。

唯一無二の価値を求めて、アーティストと共に歩む

小杉 茂氏

株式会社 HOWLING BULL 代表取締役



❖ いい音楽を作品として残したい

80年代末にビジュアル系バンドで活動した僕は、ある時点でやり尽くした感が出て引退。その後は会社員として働いたものの、多忙な割に充実感がない日々を送っていました。どうせ仕事するのなら音楽に近いところがいいと思い、90年になって HOWLING BULL を立ち上げました。当時、自分の周りにはいい音楽なのに CD を出せないバンドが多く、違和感を覚えていました。それは、いつしか「もったいない」「形として残る作品が世に出ないのは残念だ」という強い思いに膨らみ、レーベル立ち上げの原動力になりました。

転機は、国内外のメタル、ハードコア、パンク系のシーンを専門に扱う「Eat Magazine」誌を始めた94年頃ですね。なるべく新しいもの、知られていないものをピックアップするポリシーで、世界最大の fanzine（ファン参加の雑誌）を目標にスタート。アメリカ西海岸パンクがブレイクする頃で、海外との交流が深まり、ビジネスが広がり始めました。

❖ アーティスト中心主義で行く

その頃、Hi-STANDARD と出会いました。僕が招聘したカナダのバンドのオープニング・アクトを彼らにやってもらったら衝撃的で…ステージで躍動するパッション、エネルギーに「これぞパンクだ！」と圧倒されました。彼らのアメリカでのリリースを、招聘を手伝った NOFX のリーダーが運営する Fat Wreck Chords にお願ひしました。僕は「海外で認められたら本物」という発想から、海外で活躍できるバンドを作りたい。実際にアメリカツアーもこなし、人気は日本国内にも波及しましたが、メンバーは苦労したと思います。アメリカツアーも命がけだったんじゃないかな。彼らは年下だったけど、学ぶことの方が多かった。印象的なのは「俺たちのファンが一番かっこいい」という言葉。それくらい、ファンと強い信頼関係を築いていました。アンチ商業主義で、他人の力で売りたいと筋を通す姿勢を貫く点もかっこよかったですね。各方面と調整する僕は苦労もないわけではなかったけど、逆に光栄でした。

それから僕は、アーティスト中心主義の制作スタイルが自然に強まりました。アーティストはユーザーに一番近い。その感覚を生かせず、僕らの都合を押し付けると面白くなくなっちゃう。関わった中で、印象深いのは GARLIC BOYS。常に時代の一步先へ先へと、さまざまな音楽を取り込んでいく先見性が光っていた。ナンチャクも面白かったな。渡されたデモテープを聴いてみたら音が入っていない！他の人がもらったデモテープにも音が入っていない。10本くらい預かったデモテープの中で、結局音が入っていたのは1本だけ。本人たちは事故だって言ってるんだけど、逆にすごいマーケティングだと思いました（笑）。

❖ 繊細なアーティストをどうマネジメントするか

アーティストは自分の描くビジョンに向かって進む。単に商業的に成功するのが本当の目的じゃない場合もある。「彼らの幸せは何だろう」と、日々考えさせられます。とは言え、だからこそ僕は、「世の中を変えたい」「1億人に聴いてほしい」と大志を持つ人と仕事をしたい。その人の唯一無二の価値を引き出して、ビジョンを具現化していきたいと思っています。「海外で認められたら本物」と言ったけど、今思えば勘違い。個性を突き詰め本物の価値を磨いてこそ、海外で独自の輝きを放てると思うようになりました。現在は「台湾民族楽器メタル」「青春メタル」などさまざまな方向で取り組んでいます。

ビジョンの実現には、繊細なアーティストをどうマネジメントするか問われます。優れたアーティストは、常に精神的に大きなストレスを抱えています。精神的な不調に悩むアーティストと何人か関わる中で、カウンセリングやコーチングのスキルの必要性を感じ、本格的に学びました。アーティストとの向き合い方は、子育てに似ています。彼らが本当にやりたいことを自分で見つけられるように、それとなく促していく。彼らの持つ才能、すなわち自分を信じる力を支えたいですね。

今の僕は、「千人の夢を叶える」ことを目標にしています。一つのかたちとして最近、音楽の力で若者の自殺を止めようという運動のWEBプラットフォーム「telme.link」を始めました。音楽を通じた社会貢献、業界の皆様にも注目していただければと思います。

「音楽の力は若者を救う」 <http://telme.link/>

担当したアーティスト

United、Hi-STANDARD、GARLIC BOYS、ナンチャク、CHTHONIC、GYZE、Phantom Excaliver、EACH OF THE DAYS

2016年第3四半期（7月～9月）有料音楽配信売上実績

2016年第3四半期は、数量で前年同期比90%の3,834万ダウンロード、金額で前年同期比114%の131億9,200万円となった。
この結果、2016年1月から9月の累計では、数量で前年比88%の1億1,939万2,000ダウンロード、金額で前年比113%の388億5,400万円となった。

(数量:千回/金額:百万円)

	形 態	2016年第3四半期（7月～9月） 累 計			
		数 量	前年同期比	金 額	前年同期比
	Master ringtones	1,472	69%	141	75%
	Ringback tones	9,140	85%	618	85%
シングルトラック	PC・スマートフォン	24,516	95%	3,994	96%
	フィーチャーフォン	814	61%	212	61%
	小 計	25,330	93%	4,206	93%
アルバム	PC・スマートフォン	2,007	100%	2,253	100%
	フィーチャーフォン	0	-	0	-
	小 計	2,007	100%	2,253	100%
音楽ビデオ	PC・スマートフォン	363	86%	101	85%
	フィーチャーフォン	28	54%	9	56%
	小 計	391	82%	111	82%
サブスクリプション	PC・スマートフォン			5,180	160%
	フィーチャーフォン			1	95%
	小 計			5,181	160%
その他	その他のデジタル音楽コンテンツ			683	128%
合 計		38,340	90%	13,192	114%

(数量:千回/金額:百万円)

	形 態	2016年1月～9月 累 計			
		数 量	前年同期比	金 額	前年同期比
	Master ringtones	4,831	71%	455	75%
	Ringback tones	28,534	85%	1,932	85%
シングルトラック	PC・スマートフォン	75,976	93%	12,288	94%
	フィーチャーフォン	2,794	59%	727	59%
	小 計	78,770	91%	13,015	91%
アルバム	PC・スマートフォン	6,032	94%	6,874	98%
	フィーチャーフォン	0	-	0	-
	小 計	6,032	94%	6,874	98%
音楽ビデオ	PC・スマートフォン	1,126	82%	319	83%
	フィーチャーフォン	99	54%	33	56%
	小 計	1,225	79%	352	80%
サブスクリプション	PC・スマートフォン			14,512	175%
	フィーチャーフォン			3	100%
	小 計			14,515	175%
その他	その他のデジタル音楽コンテンツ			1,711	111%
合 計		119,392	88%	38,854	113%

注：数量・・・ダウンロード回数

Monthly Production Report

2016年10月度レコード生産実績

10 月度の音楽ソフト（オーディオレコード・音楽ビデオの合計）の生産実績は、数量で前年同月比 95%の 1,726 万枚・巻、金額で同 106%の 202 億円となった。

内訳は、オーディオレコードが、数量で前年同月比 93%の 1,354 万枚・巻、金額で同 102%の 158 億円。音楽ビデオが、数量で前年同月比 104%の 372 万枚・巻、金額で同 121%の 43 億円となっている。

● オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

		10 月実績						2016 年 1 月～2016 年 10 月累計					
		数 量	構成比	前年 同月比	金 額	構成比	前年 同月比	数 量	構成比	前年 同期比	金 額	構成比	前年 同期比
8cmCD シングル	邦	15	0	460%	10	0	390%	65	0	225%	43	0	247%
	洋	0	0	-	0	0	-	2	0	533%	0	0	242%
	計	15	0	460%	10	0	390%	66	0	228%	44	0	247%
12cmCD シングル	邦	4,701	35	112%	3,842	24	115%	45,101	34	96%	35,283	24	100%
	洋	2	0	67%	2	0	91%	125	0	278%	50	0	224%
	計	4,702	35	112%	3,844	24	115%	45,225	35	96%	35,333	24	100%
シングル 計	邦	4,715	35	113%	3,852	24	115%	45,165	35	96%	35,327	24	100%
	洋	2	0	67%	2	0	91%	126	0	280%	51	0	224%
	計	4,717	35	113%	3,853	24	115%	45,292	35	96%	35,377	24	100%
12cmCD アルバム	邦	6,655	49	82%	9,818	62	102%	67,143	51	92%	91,691	63	96%
	洋	1,966	15	90%	1,804	11	78%	16,850	13	88%	15,712	11	87%
	計	8,621	64	84%	11,623	74	98%	83,993	64	91%	107,404	74	95%
CD 計	邦	11,370	84	93%	13,670	86	105%	112,308	86	94%	127,018	88	97%
	洋	1,968	15	90%	1,806	11	78%	16,977	13	88%	15,763	11	87%
	計	13,339	99	92%	15,476	98	101%	129,285	99	93%	142,781	98	96%
アナログ ディスク	邦	63	0	265%	109	1	261%	329	0	107%	624	0	119%
	洋	56	0	157%	106	1	201%	315	0	138%	528	0	136%
	計	119	1	200%	215	1	228%	644	0	121%	1,153	1	126%
カセット テープ	邦	47	0	103%	44	0	101%	624	0	91%	547	0	93%
	洋	0	0	463%	0	0	288%	2	0	562%	3	0	526%
	計	47	0	103%	44	0	101%	626	0	91%	550	0	93%
その他	邦	14	0	53%	27	0	117%	119	0	79%	207	0	103%
	洋	22	0	257%	45	0	246%	190	0	133%	381	0	122%
	計	36	0	102%	73	0	174%	308	0	106%	588	0	115%
合 計	邦	11,494	85	93%	13,850	88	106%	113,379	87	94%	128,397	89	97%
	洋	2,046	15	91%	1,958	12	82%	17,484	13	89%	16,675	11	89%
	計	13,541	100	93%	15,807	100	102%	130,863	100	93%	145,072	100	96%

● 音楽ビデオ

		10 月実績						2016 年 1 月～2016 年 10 月累計					
		数 量	構成比	前年 同月比	金 額	構成比	前年 同月比	数 量	構成比	前年 同期比	金 額	構成比	前年 同期比
DVD	邦	3,213	86	111%	2,812	65	133%	33,739	81	98%	33,137	64	96%
	洋	92	2	34%	150	3	37%	609	1	57%	834	2	60%
	計	3,305	89	105%	2,962	68	117%	34,348	82	97%	33,971	65	95%
ブルーレイ ディスク	邦	372	10	208%	1,245	29	209%	7,381	18	102%	17,606	34	105%
	洋	39	1	16%	139	3	30%	169	0	42%	553	1	71%
	計	411	11	97%	1,385	32	131%	7,550	18	99%	18,159	35	103%
テープ・その他	計	0	0	-	0	0	-	1	0	78%	2	0	77%
	邦	3,585	96	117%	4,057	93	149%	41,122	98	99%	50,745	97	99%
	洋	131	4	25%	289	7	33%	777	2	53%	1,387	3	64%
	計	3,716	100	104%	4,346	100	121%	41,899	100	97%	52,132	100	98%

● 音楽ソフト（オーディオ/音楽ビデオ合計）

		10 月実績						2016 年 1 月～2016 年 10 月累計					
		数 量	構成比	前年 同月比	金 額	構成比	前年 同月比	数 量	構成比	前年 同期比	金 額	構成比	前年 同期比
オーディオレコード計		13,541	78	93%	15,807	78	102%	130,863	76	93%	145,072	74	96%
音楽ビデオ計		3,716	22	104%	4,346	22	121%	41,899	24	97%	52,132	26	98%
合 計	邦	15,080	87	98%	17,907	89	113%	154,501	89	95%	179,142	91	98%
	洋	2,177	13	79%	2,247	11	69%	18,261	11	87%	18,061	9	86%
	計	17,256	100	95%	20,154	100	106%	172,762	100	94%	197,203	100	96%

● ビデオレコード（含音楽ビデオ）

		10 月実績						2016 年 1 月～2016 年 10 月累計					
		数 量	構成比	前年 同月比	金 額	構成比	前年 同月比	数 量	構成比	前年 同期比	金 額	構成比	前年 同期比
DVD		7,697	84	152%	7,298	60	118%	70,152	77	119%	76,058	58	97%
ブルーレイディスク		1,441	16	106%	4,899	40	123%	20,732	23	106%	55,653	42	109%
テープ・その他		0	0	-	0	0	-	1	0	85%	3	0	88%
合 計		9,138	100	142%	12,197	100	120%	90,886	100	116%	131,715	100	102%

● オーディオ/ビデオレコード合計

		10 月実績						2016 年 1 月～2016 年 10 月累計					
		数 量	構成比	前年 同月比	金 額	構成比	前年 同月比	数 量	構成比	前年 同期比	金 額	構成比	前年 同期比
オーディオレコード計		13,541	60	93%	15,807	56	102%	130,863	59	93%	145,072	52	96%
ビデオレコード計		9,138	40	142%	12,197	44	120%	90,886	41	116%	131,715	48	102%
合 計		22,679	100	108%	28,004	100	109%	221,749	100	101%	276,787	100	99%

備考 1. 本年実績は、会員会社の集計である。当会員社が受託した非会員社からの販売委託分を含む。
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。
3. オーディオレコードのその他は SACD、DVD オーディオ、DVD ミュージック、MD の合計。
4. 音楽ビデオ、およびビデオレコードのその他は LD、HD DVD の合計。

音楽ソフト

シングルトラック

邦 楽

プラチナ	ANOTHER STARTING LINE	Hi-STANDARD	2016.10.05	ビザ・オブ・デス・レコーズ
	Fantastic Time	Hey! Say! JUMP	2016.10.26	ジェイ・ストーム
ゴールド	Joy-ride 〜歓喜のドライブ〜	EXILE	2016.08.17	エイベックス・ミュージック・クリエイティヴ
	TIME FLIES	ACE OF SPADES × PKCZ (R) feat. 登坂広臣	2016.10.12	エイベックス・ミュージック・クリエイティヴ
	パノラマ	関ジャニ∞	2016.10.12	ジェイ・ストーム (インフィニティ・レコーズ)
	砂の塔	THE YELLOW MONKEY	2016.10.19	日本コロムビア
	Hey Ho	SEKAI NO OWARI	2016.10.05	トイズファクトリー
	恋	星野 源	2016.10.05	JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント
	越後水原	水森 かおり	2016.03.29	徳間ジャパンコミュニケーションズ

アルバム

邦 楽

トリプル・プラチナ	Are You Happy ?	嵐	2016.10.26	ジェイ・ストーム
ダブル・プラチナ	Fantôme	宇多田 ヒカル	2016.09.28	ユニバーサル ミュージック
ゴールド	KETSUNOPOLIS 10	ケツメイシ	2016.10.26	エイベックス・ミュージック・クリエイティヴ
	Walkure Trap !	ワルキューレ	2016.09.28	JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント

※日付は発売日

有料音楽配信

シングルトラック

邦 楽

ミリオン	雪の華	中島 美嘉	2003.10.01	ソニー・ミュージックレーベルズ (ソニー・ミュージックアソシエイテッドレコーズ)
トリプル・プラチナ	にじいろ	絢香	2014.04.28	エイベックス・ミュージック・クリエイティヴ
	SAKURA	いきものがかり	2006.03.15	ソニー・ミュージックレーベルズ (EPIC レコードジャパン)
ダブル・プラチナ	前前前世 (movie ver.)	RADWIMPS	2016.07.25	ユニバーサル ミュージック
プラチナ	ワタリドリ	[Alexandros]	2015.03.18	ユニバーサル ミュージック
	友よ 〜 この先もずっと・・・	ケツメイシ	2016.03.23	エイベックス・ミュージック・クリエイティヴ
	好きな人がいること	JY	2016.08.02	ソニー・ミュージックレーベルズ (ソニー・ミュージックレコーズ)
	unravel	TK from 凛として時雨	2014.07.23	ソニー・ミュージックレーベルズ (ソニー・ミュージックアソシエイテッドレコーズ)
ゴールド	Komm, susser Tod	ARIANNE	2007.07.11	キングレコード
	インフィニティ	シェリル・ノーム starring May'n	2008.06.11	JVC ケンウッド・ビクターエンタテインメント
	DREAM	清水 翔太	2014.01.29	ソニー・ミュージックレーベルズ (ソニー・ミュージックレコーズ)
	別れの予感	テレサ・テン	2015.04.19	ユニバーサル ミュージック
	Overflows 〜言葉にできなくて〜	ナオト・インティライミ	2016.07.06	ユニバーサル ミュージック
	夢灯籠	RADWIMPS	2016.08.24	ユニバーサル ミュージック
	スパークル (movie ver.)	RADWIMPS	2016.08.24	ユニバーサル ミュージック
	なんでもないや (movie ver.)	RADWIMPS	2016.08.24	ユニバーサル ミュージック

洋 楽

ダブル・プラチナ	ハッピー	ファレル・ウィリアムス	2014.01.22	ソニー・ミュージックレーベルズ (ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル)
ゴールド	Sorry	ジャスティン・ビーバー	2016.07.13	ユニバーサル ミュージック

着うた®

邦 楽

トリプル・プラチナ	また君に恋してる	坂本 冬美	2008.11.12	ユニバーサル ミュージック
-----------	----------	-------	------------	---------------

※日付は配信開始日

認定基準一覧 音楽ソフト (アルバム・シングル・音楽ビデオ)、音楽配信 (着うた®, シングルトラック・アルバム) 共通

名 称	ゴールド	プラチナ	ダブル・プラチナ	トリプル・プラチナ	ミリオン	2ミリオン
基 準	10万以上	25万以上	50万以上	75万以上	100万以上	200万以上

基準単位: 音楽ソフト・枚、配信・DL (ダウンロード数)

※着うた®のみダブル・プラチナ以上を顕彰

※※「着うた®」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です

※※※3ミリオン以降、100万毎に認定



エルマークキャラクター
エルマーくん

THE RECORD No.685 2016年12月号
一般社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 齊藤 正明
編集人 原 康晴
発行日 2016年12月12日
発行 一般社団法人 日本レコード協会
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-2-5 共同通信会館9F
TEL. 03-5575-1301 (代) FAX. 03-5575-1313
URL: <http://www.riaj.or.jp/>

制作協力 株式会社エフビーアイ・コミュニケーションズ

編集後記

今年10月末で訪日外国人観光客が初めて2000万人を超え、2016年の年間では2400万人に達する見込みとのことです。旅行の楽しみ方も、従来の「購買」から「体験」へシフト。まだまだ日本には観光資源が眠っていそうです。今回、TIMM視察に訪れたインフルエンサーから、日本のCDショップめぐりがいかに楽しかったか、という熱い感想を聞き、こんなところにも資源が……という思いが頭をよぎりました。(M)

■ 当機関誌へのご意見・ご感想がございましたら、当協会公式サイト (URL: <http://www.riaj.or.jp/>) のお問い合わせページよりお寄せください。